

臨床教育学部 教育学科・児童教育学科 式辞

皆さん、ご入学おめでとうございます。

芦屋大学は小さな大学です。教員と学生の距離が近く、面倒見が良い大学です。今年も例年通り、学部学科に関係なく全新生を全教職員で迎えるべく準備をしていました。しかし、ご存知のように、新型コロナウイルスの感染が広がっている状況であり、感染のリスクに配慮し、学科ごとに行うことになりました。ご理解ください。

教育学科の皆さん、それぞれに大きな希望を抱いて今日を迎えたと思います。教員を目指す人、心理を学びたい人、ダンスを極めようとする人、スポーツ系のクラブに所属し良い成績を修めたい人、それぞれ何か夢を持っていると思います。

児童教育学科の皆さんは小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、特別支援教諭のいずれかを目指していると思います。本学では教員志望の学生を支援する体制が整っています。授業とは別に対策講座が組まれています。夏休みや春休みには特別講座があります。Aスタディという勉強部屋があり、基礎的な知識について、個別指導をしてくれます。

芦屋大学は皆さん、一人ひとりの夢を応援します。各コースには専門性の高い先生がいます。近年、大きな成果を上げている教員採用試験は合格への道筋を知っている先生がいます。強化クラブでは各競技の第一人者の先生がいます。このような先生方から指導を受けられます。しかし、どのような指導も心構えで、結果は大きく変わってきます。

学ぶ上での心得を、室町時代に能楽を完成させた世阿弥の『風姿花伝』から引用します。教育の書でもある『風姿花伝』では、7歳から50歳頃までを7期に分け、稽古の仕方を論じます。少し意識になりますが、君たちと同じ17、8歳の項に「指をさされて笑われても、そんなことを気にしないで、心を強く持ち、一生を左右する今こそ、踏ん張り時である。ひたすら稽古をせよ」とあります。

在学中に挫折することや成長せず歯がゆい思いをすることもあると思います。そのような時も、私たち教員は皆さんを温かく見守ります。なんでも相談してください。そして、夢をあきらめることなく、一步一步前進してください。

4年間ともに励みましょう。ご入学おめでとうございます。

令和2(2020)年4月1日

芦屋大学 臨床教育学部
学部長 杉島 威一郎